

クリスティアン・ヴルフ 独連邦共和国大統領
(Christian Wulff,
President of the Federal Republic of Germany)

略 歴

1. 生年月日, 出生地

1959年6月19日 (52歳)
オスナブリュック (ニーダーザクセン州) 生まれ



2. 学歴

1980年～86年 オスナブリュック大学にて
法学を専攻
1987年 司法試験合格, 司法修習

3. 職歴

1986年 オスナブリュック市議会議員
1989年～94年 オスナブリュック市議会キリスト教民主同盟 (CDU)
会派院内総務
1990年～ 弁護士
1994年～ 03年 ニーダーザクセン州議会議員
ニーダーザクセン州議会CDU会派院内総務
1998年～ 10年 CDU副党首
2003年～ 10年 ニーダーザクセン州首相
2003年～ アデナウアー財団理事
2010年7月2日～ 独連邦共和国大統領 (現職)

4. 家族

妻, 一女 (離別した前夫人との間), 二男 (一人は現在の妻との間, 一人は妻の連れ子)。

5. 訪日歴

2005年6月に初訪日 (名古屋 (愛知万博), 徳島県 (鳴門市), 大阪府訪問, 要人との会談等)。2009年3月に2度目の訪日 (徳島県, 大阪府, 豊橋市訪問, 要人との会談等)。

6. 横顔:

(1) 高校時代から政党に参加し活動。30代の時, オーレ・フォン・ボイスト (前ハンブルク州首相), ローラント・コッホ (前ヘッセン州首相) 等とともに, CDUのエネルギー溢れる新世代の政治家 (「die jungen Wilden (若き野獣) 」) として注目を浴びた (コール連邦政権に対する厳しい批判を行ったことで有名)。

(2) 2003年2月, CDU筆頭候補としてニーダーザクセン州議会選挙で勝利。同州において13年ぶりとなる政権交代を達成し, 州首相に就任。財政再建, 教育改革, 経済活動の自由化等の課題に積極的に取り組み, 福祉予算の削減や公務員の年末手当の廃止等の大胆な緊縮財政政策にもかかわらず, 州民からの人気は高かった。

(3) ケーラー前大統領の辞任を受け, 2010年6月30日, 連邦会議の3回目の投票で大統領に選出。戦後最も若い大統領 (就任時51歳)。